
《ネットで嫌いなヤツ》

とよー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

《ネットで嫌いなヤツ》

【Nコード】

N7964V

【作者名】

とーよー

【あらすじ】

ネットで嫌いなヤツについての作文

まあ、昔《文字を書くキツカケ》というエッセイでも少し書いたが、元々文字を書くキツカケは、あるサイトで日記を書いた事だ。

今日はそのサイトについて書く。

まずバンドサイト。

つまりアマチュアバンドのメンバーを集める登録式のコミュニティサイトであり、俺はココで日記を書き多少目立った事により、色々文字バトルをするハメになり、その度にやっつけてやったのだが、今日はそんな俺の武勇伝では無く、タイトルにある通り《ネットで嫌いなヤツ》…ココに関して話を進めたいと思う。

せっかくの日曜だし。

まあ、まずは、ネットという物について、難しく考えている人間が多い様に思う。

敢えてチヨッピリ、ダークな話から入るが、まずは個人情報というものがある。

本名を含め、住所や電話番号などの個人の情報であるが、実は、これは周りが考えるより大した事の無い情報なのだ。

荒らし時代など特に「オマエの番号抜いたからな」等とハツタリを咬ましてくる人間もいたが、まあ、まず、この個人情報大切主義安全国会である日本のインターネット世界内で、たかだか、掲示板に

書き込みをしたり、同じサイトに登録しているくらいで、そこら辺の人間が、まず、番号なんてもの引き抜けないわけで、仮に引き抜いたとしても掛けれる根性が無ければ話にならず、また、住所が分かった所で、わざわざソイツの自宅まで出向き、ピンポンを鳴らし、俺が玄関の扉を開けた瞬間、胸ぐらを掴み、「よくも変な書き込みしてくれたなー!!」と怒鳴り付け、俺をボコボコに殴り付けるヤツ等、まあ！いないのである。

そんなにネットの書き込みに夢中になれる人間等おらず、いたとしても、そんなにネットにのめり込んでいる人間など、ずっとネットをしていた人間なので、その人間の体に筋肉は付いておらず、ちょっとヤンキーだった俺の方が、まあ！勝ってしまえるわけだ。

まあ、そんなこんなも含め、とりあえず個人情報などは別に大した事では無く、なんなら番号の1つくらいココに載せても良いのだが、それはマイサイトを荒らす愚かな行為なので辞めておくが、本当に大した事では無く、荒らし時代には、何千人と見るであろうオンラインゲームのチャットで（しかも街全体に聞こえる方の迷惑なチャットの方で）「俺はこのオンラインゲームのボスだ！文句があるヤツは電話掛けて来やがれ！ギャハハハハハ！」と、今考えれば、もはや、こんなヤツ、荒らしでも何でも無く、ただのバカだが、やはりこの時は誰一人掛けて来なく、他サイトの掲示板に自分の住所や番号等を自ら載せまくっても、ほとんど掛かって来た事は無く、たまに掛かって来ても、まあ、最後は笑い合っつて電話を切ったりしているから面白いものである。

この様に個人情報というのは然程重要では無いし、仮に「あなたの番号抜きました」などと書かれりゃ「でわ。掛けてみて下さい」と書き返せば良いわけで、まあ、掛かって来る事は無いが、仮に掛かって来た場合はすぐに警察に持っていけば、ソイツは一瞬で逮捕

されるので、どちらにしる問題は無い。

前にも何度か書いたが、書き込み掲示板などに現れる荒らしの対処法に付いては、シカトと通報のみ以外の解決策は考え無くて良い。

まずスルーに徹する事がなにより大事であり、向こうは反応を見ただがっているのだから一切反応しないであげる事が大切なのである。

しかし、上手い荒らしになると、荒らしとは分からない様に会話に入り込み、いつのまにか、他の者を悪くしていたり、規約に触れない様に、すなわち荒らし行為にらならない様にターゲットの心だけを荒らしに掛かったりと、そこまでする人間も珍しいが、俺はそこまでしていたし、するとなれば徹底していたし、あまりにもシツコク、イライラする気持ちも分かりますが、どんなに長く、シツコクとも、一切反応しないであげて「飽きた」「眠い」「もう終わり?」「ひまー」「誰か相手してあげればW」こんな文字もいりません。

逆にこんなセリフを吐けばターゲットにされ、また、撤退する予定だった荒らしが戻って来る結果となるだけです。

まあ、あまり、この頃の荒らし時代の話を書き、気持ち悪がられるのも嫌なので、バンドサイトの話に戻りますが、勿論このサイトの日記は俺だけでは無く、他のユーザーの方も沢山書いていたのですが、まあ！面白くは無いと記憶しています。

しかも、かなり。

タラタラと私生活の事を書き綴り、あのバンドはどーだ、こーゆーバンドを目指してます、こんなドラマー募集中、など、俺から言わ

せりゃなんの事やら…バンドでしょ？ロックだろうが！テンション
だろうがボケナス共が！

俺はロックの神になる！最強のボーカルが欲しいヤツはメールよこ
せ！…などと、今と然程変わり無い、幼稚な書き込みをし人気を集
めていたわけですが……お待たせしました…。

《ネットで嫌いなヤツ》ですよね？

そんなもんは…めっちゃくちや居ましたね。

やたらとメールを送って来るヤツ。会話に内容全く無いヤツ。やた
らと質問ばかりしてくるヤツ。それで自分を隠すヤツ。

まあ、コツチに接触を測って来る人気に対しては、コツチに向かっ
て来たのですからヤツツケてしまっただけなんですけど、他人の日記を
見るとイライラして来るわけで、特に目立つのが自分は精神病だ
というヤツ。

このパターンの天才ぶりみたいパターンヤツの日記などは特にイラ
イラし、そんなヤツに限り、俺に「オマエの日記読んだぜ…同じ悩
みを持つ…仲間だな…」みたいなメールを送って来るが、仲間では
無いし、俺はそもそも精神病では無いし、その為、検査等には行っ
た事は無いが、仮に行き、パニック障害や多重人格障害が発見され
た所で、俺はそれを病気だとは思わないだろうし、治そうともしな
いだろうし、そもそも俺は、ココはハッキリしておきたいが、病気

などは1つも無く、逆に世界中で俺しかマトモな事を考えていないのではないかとさえ思える時もある。

しかし、やはり、ミュージシャンや、小説サイトもそうだが、特に芸術的作品に携わるサイトの日記などには必ず数人はいるのである。

「俺はパニック症候群により、他人と深く関われ無くなってしまった。これにより音楽でしか自分を表現出来ず苦労している…」などとベートベン気取りも甚だしく、そんなヤツラ俺から言わせりゃ「全員甘ったれんな！」で話が付いてしまう。

なにをウジウジとやっているんだ？

ただでさえ、引きこもりがちなネットの世界で、更に引きこもった行動に出て、イッタイ何をしてるんだい？

そんなナルシズマーな態度をとらなくとも、誰もオマエになど注目はしていない。

「俺は心の奥にある精神的な病気と闘いながら、その力も能力として使い、自分だけの音を作り出していけたら良いと思う」などと、天才ぶっているが、やはりこんなヤツは纏めて、俺がタイマンを張って差し上げたくなってしまう。

《ネットで嫌いなヤツ》…うーん。書き出したら霧がないので、いちお、ココラで書き終えときます。

どーも。

とーよーでした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7964v/>

《ネットで嫌いなヤツ》

2011年8月15日08時12分発行